



農林商工部会 活動実績と活動計画



▲「くんま」のイラスト

平成21年3月3日(火)、まちづくり協議会農林商工部会の計画、付知町まちづくり協議会から参加者を募り、静岡県浜松市天竜区熊(くんま)の「NPO法人夢未来くま」が運営する道の駅「くんま水車の里」とその周辺の視察研修を行いました。当日は、雪混じりの雨が降り、肌寒い一日でしたが、元気なおかさん達の素敵な笑顔が暖かく迎えてくれました。



金田三和子副理事長さんに施設のご案内をしていただきました。「かあさんの店」(食堂)、「水車の里」(みそ、そば、菓子、こんにゃく、漬物、五平餅等の製造開発)、「いきがいハウスどっこいしょ」(高齢者に給食サービスとヘルパー養成)などの施設を積極的に運営して見えました。



その後で大平展子事務局長さんから、「くんま」の村おこしとしての経緯から新たな挑戦までのお話しを伺いました。この熊地区では、高度経済成長の始まった昭和30年代後半から、便利さと、働く場所を求めて人口の流出が相次ぎました。そんな中で「村おこし」と「村の人たちの生き甲斐づくり」に取り組みながら、昭和52年に女性たちの地域活動として「生活改善グループ」が誕生し、昭和56年から熊婦人会「くんま生活とその文化」

昭和60年には「明日の熊を語る会」翌年には「くんま水車の会」が、グループに発展をしていきました。そんな取り組みが認められて、平成元年には第28回農林水産省「むらづくり」部門で農林水産大臣賞と天皇杯を受賞されています。さらに平成12年には「NPO法人夢未来くま」として立ち上げ、新たな挑戦を始めました。



今でも年間7000万円以上の事業に取り組みんでいます。やはりこの「くんま」には、金田さん、大平さんなど本当にホッと人たちの想いがいっぱい詰まっていると感じました。私たち付知町にも、花街道、温泉、キャンプ場など沢山の資源があります。この資源をどう活かすのか考える良い研修が出来たと思います。21年度は、協働のまちづくりを勧め、20年度部会として取り組んだ事業を継続して実施し、付知地域の観光産業資源を、市内外に積極的にPRする事で魅力ある元気な付知にしていきたいと思えます。



平成19年3月26日、付知町まちづくり協議会が発足し3年目を迎えています。快適で、楽しく、安心して安全に暮らせる地域を将来にわたって形成していくために、地域住民の力を結集し、取り組むことが重要です。まちづくり協議会活動の内容を広く周知することで地域の皆さんが中心となったまちづくりが行える様、努力していきたいと思えます。

協議会長挨拶 (早川正人)

まちづくり協議会が発足し今年で2年、合併後の付知町を活力ある住みやすい町にする為に、区長会をはじめ町内60団体の方々に参加頂き、付知総合事務所に事務局をお願いし、組織作りをしてきました。しかし今まで上から決まってくる事を実行していく事にとっぴりと漬かっている私達にとって、自分達から働きかけ町を元気にしていく事の意味が、自分達も含め住民の方々に伝わっていないのも現状です。『誰かがやってくれる』ではなく、町民一人一人が自分の住んでいるこの付知を『自分達でどうにかせんといかんぞー』と言う意識を持つ事が、町づくりの第一歩であると思えます。

国や県からの要請で立ち上げた組織ではないので、資金もなく活動を進めていくのは大変な事ですが、町内の各団体を通して色々な情報を寄せて頂き、付知住民みんなで付知の町を元気にする、そのお手伝いができればと思っています。まず、まちづくり協議会を知って下さい。

総務企画部会

部会長挨拶 (熊谷和男)

平成21年度下半期の開催

付知町まちづくり協議会各部会等の開催 (平成20年度下半期)

- 10月10日(金) 総務企画部会
- 10月26日(日) 秋の紅葉付知峡散策ツアー
- 10月27日(月) 白川村長講演会
- 11月10日(水) 総務企画部会
- 11月14日(金) 農林商工部会
- 11月21日(金) まちづくり協議会役員会
- 11月22日(木) 生活福祉部会
- 1月29日(木) 教育文化スポーツ部会
- 2月2日(月) 農林商工部会
- 2月3日(火) 総務企画部会
- 2月13日(金) まちづくり協議会役員会
- 2月23日(月) まちづくり協議会広報委員会
- 2月25日(水) 第一回付知健康ウォーキングの会
- 3月3日(火) NPO法人夢未来くま視察研修
- 3月24日(火) 教育文化スポーツ部会
- 3月26日(木) 生活福祉部会
- 3月27日(金) 総務企画部会
- 3月30日(月) 農林商工部会

平成21年付知町新年会

1月30日(金)、アートピア付知交芸プラザ(ホール)に於いて、付知町新年会が盛大に行われました。この新年会は、中津川北商工会付知支部主催で毎年行われていた、「新年ご礼会」を今年から、「付知町新年会」とし、付知町内の各種団体の皆様が一同に会し、平成21年が良い年であり、活力のある年をスタートするために行われたものです。(※参加者130名)今年から付知町まちづくり協議会が共賛しています。



ご寄付を頂きました

ご寄付の紹介

◆ 付知赤十字奉仕団様	金24,774円
◆ 坪井博郎様	金8,000円
◆ 龍華庵お客様一同様	金1,216円
◆ 嶋田ユキエ様	金5,000円
◆ 早川ひさ子様	金1,000円
◆ 早川 修様	金3,000円
◆ 青山敏市様	金3,000円
◆ レディスサークル様	金5,000円
◆ NPOつち様	金23,000円
◆ 昭和39年度付知中学校卒業生還暦同窓会参加者一同様	金87,000円
◆ まちづくり協議会へのご寄付	金87,000円

誠にありがとうございました。

活動実績と活動計画

総務企画部会では、重要課題である協議会を運営するための財源確保について検討を重ねてまいりました。まちづくり協議会の活動を地域住民の皆様幅広く知って頂き、誰でもが参加出来る組織にするため、昨年10月27日世界遺産の村、白川村長(谷口ひさし氏)を招き講演会を行いました。276名の皆様が参加され大変有意義な講演会となりました。平成21年度は、付知地域のまちづくりについて10年ビジョンの策定に手掛け、その為の5年後の姿、3年後の姿といった将来のビジョンについて検討を重ね、課題に取り組んでいきたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。



▲白川村長講演会の様子

〈目次〉部会長挨拶・活動実績と活動計画・他連絡事項
 ・総務企画部会 …1P・教育文化スポーツ部会 …3P
 ・生活福祉部会 …2P・農林商工部会 …4P

編集・発行 付知町まちづくり協議会 広報委員会
 Tel 0573-82-2111
 Fax 0573-82-4465

生活福祉部会

部長挨拶 (早川鉄郎)

所感

昨今の景気低迷が予想以上にきつくと、多面にわたる影響がきている、これから当分の間深刻な状況が続く可能性大といえます。

この地域に於いても、事業閉鎖、事業縮小、後継者なし、後継者転職、高齢者店主化と、地域の益々過疎化現象が進み、逆に都市集中型傾向となってきています。

こんな世相の中で、先を見据えた健全事業確立対応は厳しい時といえます。

幅広い福祉の分野の中で、福祉的伝導行事の継承、及び健康づくり、防火体制の整備など、安全は福祉、防災は福祉、健康は福祉、を目標に推進していくには付知地区の住民相互の連携により、快適で楽しく明るく安心して安全に暮らせる地域を将来にわたって形成していくよう、皆さんの理解、協力、参加により、意識改革、仲間改革で、改革意識づくりなど合併後の、意義ある地域づくりにお力添え賜りますようお願い致します。

活動実績と活動計画

生活福祉部会では、「付知地区の住民相互の連携により、快適で、楽しく、安心して安全に暮らせる地域を将来にわたって形成していく。」ことを目標に、「安心・安全」を二本の柱として取り組んできました。

その中で第59回付知町敬老会を、地域のみなさんの協力、支えにより盛大に行うことができました。

来年度も、多くのみなさんのご協力、ご支援の基に、「手作りの敬老会」を目指し、長年に渡り続いてきた付知町敬老会を継続できるよう、進めて参ります。

「防災」に関しては、8月に全町内会で防災訓練の実施、11月中津川市社



▲災害時のボランティアセンター立ち上げの訓練風景

会福祉協議会付知支部が開催した「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」に生活福祉部会からも参加し、訓練の必要性と地震・災害等の認識を持つことの大切さを感じております。

2月には付知地区老人クラブ連合会の協力を経て、地震防災対策についてのアンケート調査(非常持ち出し袋の準備はしていますか、緊急避難所を決めていますか、家族間の連絡手段は決めていますか、など8項目)を行いました。

この調査の結果を踏まえ、地震防災対策問題への取り組みに生かし、必ずやるといわれる地震、災害に備えて体制づくりに努力して参ります。

また、今年の6月には災害に遭われた体験を基にした、地震・災害に関する講演会を予定していますので、その際には多くの方に参加いただけるようご案内いたします。

これからも生活福祉部会は、様々な活動をおして住民福祉増進、健康づくり推進、生活環境整備、防災体制整備等に取組んで参りますので、皆さんのいろいろなご意見をお聞かせください。

※付知地区老人クラブ連合会理事、会員の皆様には、地震防災対策等アンケート調査にご協力をいただき誠にありがとうございます。

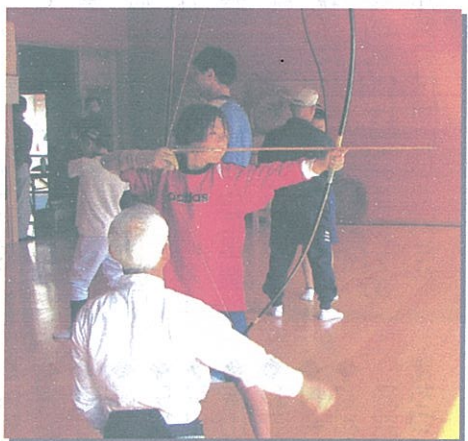
活動実績と活動計画

教育文化スポーツ部会では、それぞれの部門が抱える問題について討論を重ね、解決策を見出し、実現を図っていくように頑張っています。

『教育分科会』では、学校と地域社会との付き合い方、登下校時の子どもの安全確保対策、子どもの学力調査、携帯電話の是非、小児化によって起こる問題への対策などについて、付知の現状の把握と対策などについて話し合っております。

『文化分科会』では、特に付知の伝統芸能であります木遣音頭、三輪神社のお神楽・翁舞について後継者の募集と育成に取り組みすることとしており、このことにつきましては、是非とも皆様方の絶大なご支援をお願いしたいと考えているところであります。

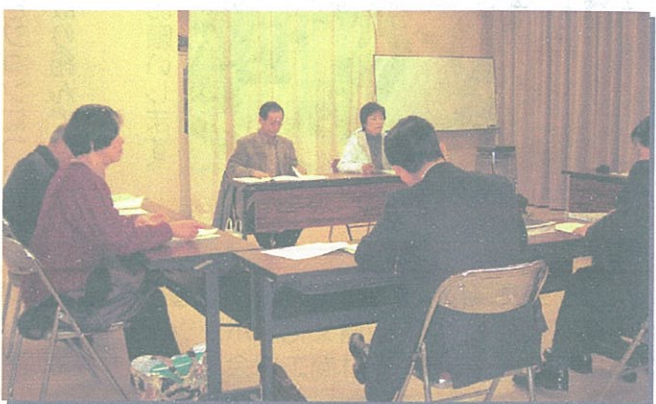
また、文化協会には、所属団体が50あり、それぞれ付知の文化の振興のために活躍を頂いているところですが、中心になって指導をして頂いております方は、色々とご苦労がおりますので、アングレートなどによりご意見をお聞かせいただきながら、対応を考えてい



付知町スポーツ分科会

『スポーツ分科会』では、付知町体育協会・スポーツ少年団付知支部・NPつけちスポーツクラブ・スポーツレクリエーションクラブの皆さんが、それぞれ地域の青少年や成人者の健康の増進と体力の向上のために、年間それぞれの行事を通して大活躍をして頂いているところであります。分科会としては相互連絡・調整を図りながら運営上の支障などある場合は対策をとっていききたいと考えております。また、体育協会には15の所属団体があり、それぞれ指導者の方々ご苦労を頂いているところであります。これらの皆さんからご意見を頂きながら、より良い活動がして頂けるように努めていきたいと考えております。

ウォーキングの会設立



付知町ウォーキングの会は、会員がウォーキングを通じて、肥満やストレス解消、生活習慣からくる病気の予防、老化防止などの健康増進を図ることを目的として、生活福祉部委員代表7名により、設立されました。

みなさんに広く活用していただけるよう、ウォーキングコースの設定、案内看板の設置等について慎重に審議し、健康づくりの推進を行っています。



木遣音頭保存会委員募集!

江戸時代、徳川家康公が名古屋城を築いた時、加藤清正が進んで加わり有名な大石を築き上げました。その時全員の力が合うよう木遣音頭で指揮をとり難工事をなし遂げたと言われています。

この難工事の影には付知村の人々の並々な努力があり、この努力が清正公の目にとまりその労をねぎらう意味で木遣音頭が付知村に贈られました。この木遣音頭は昭和50年7月17日に岐阜県重要無形文化財に指定されており、保存会では、一緒に音頭を謡う仲間を募っています。

中学生・高校生、そして女性の皆さんも大歓迎です。伝えられてきた無形文化財を絶やすことなく益々盛大にして次の世代へ引き継いでいくために、大勢の皆さんが入会して下さるよう心からお待ちしております。

代表 片田富郎 〇八二二二八八〇

